

学校法人阿弥陀寺教育学園 国際医療福祉専門学校七尾校

令和3年度 第1回学校関係者評価委員会議事録

令和3年8月27日

委員：	竿漕 正人	(七尾市役所 健康福祉部福祉課 課長)
	津田 博美	(社会福祉法人 七尾市社会福祉協議会 会長)
	能美 敬一	(在学生保護者・後援会 会長)
	大矢 陽介	(はまなす園 特別養護老人ホーム 理学卒業生)
	岩島 誠	(公立能登総合病院 理学卒業生)
	冲崎 孝裕	(市立輪島病院 作学卒業生)
	皆川 直樹	(津幡町消防署 救命卒業生)
	村田 敏子	(特別養護老人ホーム 鹿寿苑 介護卒業生)
	三和 勘太	(国際医療福祉専門学校七尾校 副校長)
	由久保 弘明	(国際医療福祉専門学校七尾校 理学療法学科)
	古川 慎太郎	(国際医療福祉専門学校七尾校 救急救命学科)
	花田 真維子	(国際医療福祉専門学校七尾校 介護福祉学科)

議事内容

1. 新型コロナウイルス感染症の対策に伴う臨時休校中の対応報告 資料①
2. 在学生状況と卒業生進路状況 資料②-1, 2, 3
3. 各学科の取り組み活動・成果報告 資料③
4. 学校としての取り組み活動・成果報告 資料④

1. 令和3年度前期（2021年4月～2021年8月）の授業状況と新型コロナウイルス感染症対策の報告

令和2年度前期は石川県の緊急事態宣言を受け、臨時休校とした時期があったが、令和3年度は通常通り対面授業で実施した。対面授業を実施するにあたり感染予防対策の指導と実施を徹底して行った。

<学年歴>

- ・令和2年度前期は定期試験や夏季休業の時期を変更し実施したが、令和3年度前期は特段の変更無く実施

<感染予防対策>

- ① 学生玄関内に非接触体温計を設置し検温とアルコール手指消毒の実施
- ② 検温、症状の確認 *37.5度以上の場合は欠席とする。
- ③ 各教室にアルコールポンプを設置し、授業前後の手消毒の実施
- ④ 敷地内におけるマスク着用の徹底
- ⑤ 密集、密閉、密接の回避対策
 席間隔や学生人数の密集への配慮
 教室の換気を随時行うことによる密閉回避
 マスクをつけて身体的距離を保つての会話を行うことによる密接回避
- ⑥ 手洗いや咳エチケットなどの感染対策に関する指導
- ⑦ 抵抗力を高める食事や睡眠などの健康管理指導
- ⑧ 学生食堂の利用方法として、対面形式の席取りは行わない。

<臨床実習> 令和2年度前期の実施状況

理学療法学科	3年生	4月～8月上旬に実習配置を行い、通常通り実施
	1～2年生	例年、臨床実習配置は後期のみ
救急救命学科	1～3年生	例年、臨床実習配置は後期のみ
介護福祉学科	2年生	5月と7～9月に行う予定であった臨床実習を学内実習に置き換えて実施
	1年生	例年、臨床実習配置は後期のみ

国際医療福祉専門学校七尾校

資料②-1

2021/8/1 時点

定員充足率(*転科生・留年生・訓練生を含む *休学生は除く)

	定員	1年	2年	3年	計	総定員	充足率
PT学科	35	18	18	18	54	105	51.4%
EMT学科	35	22	14	8	44	105	41.9%
CW学科	30	7	17		24	60	40.0%

総数 122 270 45.2%

寮定員数と稼働率

寮名	定員数	現利用者数	
小丸山寮	30 名	20 名	15室(1階7室、2階8室) 全室:2人部屋
小島寮	4 名	4 名	4室
大和寮	4 名	4 名	4室
石崎第一寮	7 名	6 名	7室
石崎第二寮①	10 名	10 名	10室
石崎第二寮②	8 名	6 名	6室(1階2室,2階2室,平屋2室) * 平屋1室2人部屋
後畠寮	12 名	6 名	12室
大手寮	10 名	6 名	10室
			全64室
全定員数	85 名	62 名	72.9% 稼働率

* PT・EMT・CWの3学科すべての学生が利用

全生徒数に占める寮生の割合 50.8%

令和2年度 卒業生就職先情報

理学療法学科（8名） * 七尾市内への就職者数1名

	出身地	就職先	就職先地域
1	七尾市	国立病院機構 医王病院	金沢市
2	七尾市	恵寿総合病院	七尾市
3	富山県	杉野脳神経外科病院	富山県
4	富山県	京都大原記念病院	京都府
5	七尾市	康生会 武田病院	京都府
6	七尾市	エルダーヴィラ氷見	富山県
7	輪島市	千葉四街道徳洲会病院	千葉県
8	鳳珠郡	老人保健施設 百寿苑	輪島市

救急救命学科（6名） * 七尾市内への就職者数0名

	出身地	就職先	就職先地域
1	富山県	川崎市消防局	神奈川県
2	富山県	高岡市消防本部	富山県
3	鳳珠郡	奥能登広域（能登）消防	奥能登
4	富山県	氷見消防本部	富山県
5	富山県	東京医科大学付属病院	東京都
6	小松市	能美消防本部	能美市

介護福祉学科（3名） * 七尾市内への就職者数2名

	出身地	就職先	就職先地域
1	富山県	老人保健施設 風の庭	富山県
2	七尾市	障害者支援施設 つばさ	七尾市
3	モンゴル	介護老人福祉施設 千寿園	七尾市

資料③

3. 各学科の取り組み活動・成果報告

【理学療法学科】

(1) 学生状況

	令和元年度入学生 13 期生	令和 2 年度入学生 14 期生	令和 3 年度入学生 15 期生
入学者数 (在学者数)	24 名 (在学者 22 名)	15 名 (在学者 14 名)	18 名 (在学者 18 名)

- ・ 1 年次前期より一般漢字や医学漢字、基礎数学などを通して再学習すべき内容を取り入れて行っている。その他、計画的に物事を進める能力が乏しい学生が多く、先を見据えて行動できるようスケジュール管理の指導も積極的に取入れて行っている。

(2) 取り組み状況・成果

1) 昨年度の取り組み

- ・ 石川県リハビリテーションセンター 1 日体験・講義 (1 年生)
- ・ オープンキャンパスの学生スタッフとして参加 (2 年生)
- ・ パーキンソン病友の会の方を招いての模擬臨床実習体験 (2 年生)
- ・ 校内デイサービス利用者の方を招いての模擬臨床実習体験 (2 年生)
- ・ 校内デイサービスにおける学生スタッフとして参加 (1 年、2 年生)
- ・ 福祉住環境コーディネーター 2 級の取得を目指す (2 年生全員)

2) 令和 2 年度卒業生の国家試験結果

	30 年度卒業生 10 期生	31 年・R1 年度卒業生 11 期生	令和 2 年度卒業生 12 期生
本校(現役)	10/10 名 (100.0%)	12/12 名 (100.0%)	9/13 名 (69.2%)
全国(現役)	92.8%	93.2%	86.4%

(3) 課題と今後の取り組み

1) 問題 (自己) 解決能力の高い人材の育成

- ・ 問題解決能力の養うため、学生主体のプレゼンテーションを中心とした講義を積極的に取り入れていく。

2) 人間性豊かな人材の育成

- ・ 地域施設の行事等に学生ボランティアとして積極的に参加し、主体性・社会性などの心を育む。

【救急救命学科】

(1) 学生状況

	31 年・令和元年度入学生 13 期生	令和 2 年度入学生 14 期生	令和 3 年度入学生 15 期生
入学者数 (在学者数)	12 名 (在学者 8 名)	15 名 (在学者 14 名)	22 名 (在学者 21 名)

- 1) 本学科は救急救命士を養成する学科であり、入学する生徒のほとんどは消防就職を希望している。病院就職を希望している生徒は、在校生 43 名中 3 名(3 年生 1 名、1 年生 2 名)である。
- 2) 新入生の中には、自身の進路に対して漠然とした考えで入学する学生がおり、取得した資格が担う重要な役割の認識が足りていない学生も見受けられる。
- 3 年後の国家試験受験に向け、授業と自己学習の取り組み方について指導している。

(2) 取り組み状況・成果

1) 社会人としての意識付け

今年度、資器材拡充を図った際に、資器材庫内の清掃整備と員数点検を実施し、資器材の正しい取り扱いと点検・清掃、片付け方法を指導した。

消防や医療機関に就職する以前に社会人として、髪型や身だしなみ、挨拶、清掃整備の重要性について指導した。

2) 救急救命士としての意識付け

消防及び病院就職の意識付けを行うために、救命士会主催の救急技術指導会等の参加やドクターヘリ見学といった課外実習、心肺蘇生法講習会の実施を計画しているが、今年度はコロナ禍のため参加を控えている現状で、終息後に調整を行っていく。

後期では、ドローン操縦資格の取得や、七尾鹿島消防の救急救命士に、実技の授業内で指導していただく機会を取り入れ、教育学的な教育と実際の現場の活動の違いなど理解を深めさせる予定である。

3) 医療従事者との交流、自覚の芽生え

能登総合病院・金沢医科大学病院で行われているトリアージ訓練等に患者役として参加、メディカルラリーや JPTEC などへ積極的に参加し、病院関係者・消防関係者とのコミュニケーションを含めた接遇能力の向上、救急分野の知識と技術の向上を図らせることを計画しているが、今年度はコロナウイルスの影響により課外実習が中止となっているため、終息後に調整を行っていく。

4) 地域の社会貢献

今年度実施を予定していたライフセービング活動はコロナ禍のため中止とな

り、代わりに近隣海岸の清掃を実施した。(6 月度)
 学校周辺についても清掃活動も実施した。(4・5 月度)

5) 令和 2 年度卒業生の国家試験結果、就職率・消防就職率

①国家試験結果

平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
13 名中 12 名合格	12 名中 7 名合格	7 名中 5 名合格
92.3%	58.3%	71.4%

②就職率・消防就職率

	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
就職率	84.6%	69.2%	85.7%
消防就職率	76.9%	69.2%	71.4%

(3) 課題と今後の取り組み

1) 国家試験合格率 100%

標準テキストでの勉強は当然の事であるが、上級生が下級生に実技等を教えることにより、アウトプット力の向上を図り、知識と技術を定着させていく。

また、グループワークを行い、発表形式で症例問題を解くことや検討することを行い、考える力を強化させる。

2) 消防就職率 80%以上

公務員試験対策の強化として、出題傾向の高い政治・経済・社会、数的推理・判断推理、作文対策を 1 年後期から計画的に取り組んでいく。

【介護福祉学科】

(1) 学生状況

	令和 2 年度入学生 9 期生	令和 3 年度入学 10 期生
入学者数 (在学者数)	22 名 (在学者 17 名)	7 名 (在学者 7 名)

- ・令和 3 年度入学生より新カリキュラムとなる。
- ・留学生は日本語能力や学習能力、資格取得に向けたモチベーションにバラツキがある。本校在籍中に日本語能力試験 N2 を 2 名受験し、うち 1 名が合格した。
- ・昨年度は現役生のみであり、委託訓練生（離職者訓練生）、留学生の入学者無し。

(2) 取り組み状況・成果

- ・留学生初の卒業生となり、就職での不安など卒業後のフォローも必要。
- ・コロナの影響にて授産施設への見学・交流および、認知症カフェへの参加は無し。
- ・介護実習は前期の開始には実施できたものの、途中で中止となり、学内演習に

振り替えとなる。

- ・国家試験結果について、暫定期間となるも受験している

	31 年度卒業生（7 期生）	令和 2 年度卒業生（8 期生）
本校(現役)	8/8 名（100.0%）	2/3 名（66.7%）
全国(現役)	69.9%	71.0%

- ・就職状況について、卒業生 4 名中 3 名が県内に就職。うち、留学生 1 名は七尾市内に就職。未就職は委託訓練生にて自己都合にて就職せず。求人は多くあり、就職先が無くて就職ができないことはない。

(2) 課題と今後の取り組み

1) 学生の確保

- ・現役生獲得の困難。介護職への理解のためには直接学生と話すことができる高校ガイダンスが重要であることから、機会を得て実施することが必要。
- ・留学生の確保が重要であるが、個々の留学生の日本語能力のレベルにより、授業内容の進行に影響がでるため、日本語学習の内容を検討。また、留学生の実習先の確保が必須である。
- ・留学生は学費及び生活費が必要で、アルバイト先の確保が生活をしていくうえで重要となる。
- ・委託訓練生の募集期間が短く、案内も禁止されていることから、集約のためには、卒業生としての紹介など働きかけるなど検討する。

2) 国家試験対策

- ・社会福祉士及び介護福祉士法の改正により、H29 年度卒業学生より国家試験を受験している。
- ・留学生に対しては、全員が国家試験を受験できるレベルに達することは困難であり、学校で必要な単位を取得し卒業するクラスと、国家試験を受験するための受験対策を行うクラスに分けることを検討。留学生用に国家試験対策の授業内容の見直しや模擬試験の回数を増やし、時間配分や問題へ慣れる事に取り組む。

3) 地域との関わり

- ・認知症カフェ等への参加は重要であるが、コロナ感染拡大を予防するため、自粛を強いられる。また、施設見学も十分にできず、学内だけでは能力を養う学習は不足すると思われる。今後の制限緩和に期待したい。

(1) 学生募集

1) 氷見・高岡方面への学校送迎バス

利用人数は毎日 10～12 名程度で、金曜の夕方と月曜日の朝は週末実家へ帰省する学生が利用するため 16 名程度となっている。学校名の入ったスクールバスが色々な方の目に入るため、広報として有効である。今後も継続し運行していく。また、学生募集においても氷見・高岡方面の送迎は評判が良く、選考事由として挙げる高校生も見られる。しかしながら、富山方面の高校教員などにはスクールバスの認知度はまだ低く、今後より力を入れたアピールも必要である。

2) 募集メディアと募集方法

①オンラインオープンキャンパスの実施

新型コロナウイルスの流行に伴いオープンキャンパス参加のための来校が困難な学生に対し、ZOOM によるオンラインオープンキャンパスを昨年度より継続して行っている。また、密集状態を避けるために個別での進路相談会も設置している。2つの企画に関しては日時の設定はせずに随時申し込み可能としている。今年度は岐阜県や長野県などの遠方からの参加者も見られ、それらの学生は当校を第1志望となっている為、わずかながらではあるが成果がみられている。今後は参加件数を伸ばせるような施策の検討を行っていく。また、動画配信サービス「YouTube」にて公式ページを開設し、動画による校内見学、学校説明、授業風景などを配信し、在宅での学校案内を行っている。

②リクルート企画 導入、実施、結果などについて

リクルートの契約で、「スタディサプリ for marketing」によるデータ統括と分析、「スタディサプリ進路」「スタディサプリ OC カメラ」による広告宣伝、1～2 か月に 1 度のオンラインによるミーティングによる学生募集のアドバイスを受けてきた。

③資料請求

資料請求数は昨年度合計 350 件に対し、今年度は 4～9 月までに 335 件と前年度資料請求数にほぼ達している。併せて来校者（オンライン含む）の人数も昨年度合計 75 名、今年度 4～9 月までに 60 名であり、僅かに昨年度より来校者は落ちているが、これは新型コロナウイルスの影響が昨年より大きいことが考えられる。そこにあって、オンライン個別相談会の件数は増えている。また、高校での進路指導が遅れていることもあり 9 月以降も来校者が見込めると考えられる。

④高校ガイダンス

今年度より、ガイダンス業者さんぽうと契約し高校ガイダンスに積極的に参加している。また他社からのスポットでのガイダンス参加要請もあるが、さんぽう含め能登・呉西地区と入学実績がある高校に関して選択的に参加している。また、高校への進路指導の講師としての依頼や高校単位での学校見学などの依頼もあり、今後もこのような活動は拡大していきたいと考えている。

⑥その他

去年度と比較し、高校訪問の受け入れは良くなってきており高校ガイダンスも今年度前半は複数回参加できたものの、夏以降は感染拡大に伴いガイダンス開催がなくなってきている。

(2) 地域貢献

1) 学内デイサービス『みんなの教室』の実施状況について

七尾市総合事業における基準緩和型運動型のデイサービス

＊2017 年開設 毎週火曜午前（風呂・食事は無し）

ほぼ毎回、定員の 10 名を満たした状況で運営している。

毎回一定数の学生を、補助スタッフとして常時関わらせており、情意面や実技などの教育にも活用できている。

昨年位引き続き、学内実習の場としても活用できている。

2) 地域交流

・今年度は日本 ID 陸上選手権大会のサポートスタッフとして参加する予定だったが、新型コロナウイルスの流行が収まらず次年度延期となった。そのため今年度は、パラスポーツ体験イベントのボランティアスタッフとボッチャ選手権の競技スタッフとして参加する予定。

・施設主催の夏祭りや敬老会等へボランティアスタッフとしての参加するための指導および準備は行っているが、各施設におけるコロナ感染拡大予防のため受け入れが無い状況が昨年度より続いている。状況が改善すれば積極的に参加して行く予定である。

以上